

●今月の『ポピー』の算数で学習するおもな内容と大切なことがらです。

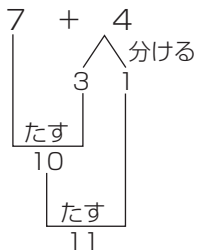
□の数字は、教科書のページ数です。

1年 たしざん

□ 60~69

- 7+4, 3+9のような、くり上がりのあるたし算ができるようにします。

〈計算のしかた〉



たす数やたされる数を分けて、10のまとまりを作って計算します。

4は 3と 1。
7と 3で 10。
10と 1で 11。



くり上がりのあるたし算は、2年生のたし算の筆算につながります。たし算カードを作ったり、身の回りの数字を使って、しっかり練習させましょう。

2年 長方形と 正方形

□ 100~109

- 三角形や四角形の性質を知り、形の特徴をつかみます。



3本の直線で
かこまれた形



4本の直線で
かこまれた形

- 直角の意味を知り、長方形と正方形を学習します。

長方形…4つのかどがみんな直角になっている四角形。

正方形…4つのかどがみんな直角で、4つの辺の長さがみんな同じ四角形。

3年 かけ算の筆算(1)、大きい数のわり算、分数とわり算

□ 106~125

- (3けた)×(1けた)の計算を、筆算でできるようにします。

$$\begin{array}{r} 132 \cdot \text{一の位} \cdots \text{三二が6} \\ \times 3 \cdot \text{十の位} \cdots \text{三三が9} \\ \hline 396 \cdot \text{百の位} \cdots \text{三一が3} \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 132 \\ \times 3 \\ \hline 6 \cdots 2 \times 3 \\ 90 \cdots 30 \times 3 \\ 300 \cdots 100 \times 3 \\ \hline 396 \end{array}$$

- 九九より大きい数のわり算ができるようにします。

〈84÷4の計算のしかた〉

$$\begin{array}{r} 84 \\ 80 \quad 4 \end{array} \quad \begin{array}{l} 80 \div 4 = 20 \\ 4 \div 4 = 1 \\ \hline \text{あわせて } 21 \end{array}$$

しっかり
落ち着
いて!!



- 同じ大きさに分けるときの1つ分の大きさの求め方を学習します。

4年 がい数の表し方と使い方、計算のきまり

□ 118~下12

- がい数の表し方を学習し、和や差、積や商をがい数を使って計算するしかたを学習します。

◎求める位の1つ下の位の数字を四捨五入する。

〈45921を一万の位までのがい数にする〉

$$45921 \longrightarrow 50000$$

└千の位を四捨五入する。

◆千の位が0, 1, 2, 3, 4のときは一万の位の数はそのまま。千の位から下の数字は0000とする。

◆千の位が5, 6, 7, 8, 9のときは一万の位の数に1大きくし、千の位から下の数字は0000とする。

- (), +, -, ×, ÷がまじった式の計算のしかたや、計算のきまりを学習します。

5年 分数と小数、整数の関係、分数のたし算とひき算

□ 108~下15

- わり算の商や小数、整数が分数で表せることを学びます。

- 通分・約分のしかたを知り、分母がちがう分数のたし算とひき算ができるようにします。

〔ポイント〕① 通分して、同じ分母の分数になおしてから計算する。

② 答えが約分できるときは、約分しておく。

$$\frac{1}{6} + \frac{3}{10} = \frac{5}{30} + \frac{9}{30} = \frac{14}{30} = \frac{7}{15}$$

通分する 約分する



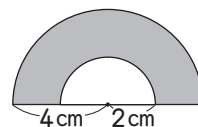
分母と分母の最小公倍数で通分して、分母と分子の公約数でわって約分するんだよ。

6年 円の面積、角柱と円柱の体積、およその面積と体積

□ 120~144

- 円の面積の求め方を学習し、円を半分・ $\frac{1}{4}$ にした形の面積や、それぞれの形を組み合わせた図形の面積を求める学習をします。

円の面積=半径×半径×円周率(3.14)



$$\begin{aligned} \text{面積} &= 4 \times 4 \times 3.14 \div 2 \\ &= 2 \times 2 \times 3.14 \div 2 \end{aligned}$$

- 角柱と円柱の体積の求め方を学習します。

角柱の体積=底面積×高さ

底面の図形の面積

円柱の体積=底面積×高さ

半径×半径×円周率

